

4. シナダレスズメガヤ定着可能性が高い場所の抽出結果

前章までの「2.洪水による自然営力で定着しにくい場の検討」「3.シナダレスズメガヤの侵入可能性の分析」により得られたマップを重ね合わせ、シナダレスズメガヤの定着可能性が高い場所を抽出した。

4.1 レキ河原上での区分

各地区でのレキ河原は、掃流力マップにより以下の3つの区域に区分される。(図 1-2 参照)

【マップ上の区域】

実生を消失させる掃流力ライン（緑線）～水域にかけての区域(A)
：1年に1回程度発生しうる洪水により実生の消失が期待される区域

成熟株を消失させる掃流力ライン（青線）～実生を消失させる掃流力ライン（緑線）に囲まれる区域(B)
：実生は定着するが、数年に1回程度発生しうる洪水（平成16年8月1日洪水規模）により成熟株の消失が期待される区域。

成熟株を消失させる掃流力ライン（青線）～堤防側にかけての区域(C)
：数年に1回程度発生しうる洪水でも消失が期待されない区域。

4.2 定着可能性の高い場所の抽出

シナダレスズメガヤの定着可能性が高い場所の抽出として、掃流力マップと侵入可能性が高い場所との重ね合わせ図¹⁾を作成した。各地区での3つの区域毎に、潜在的にシナダレスズメガヤの侵入可能性が高い場所となるスコア 0.75 以上の面積を算出すると、以下の表のとおりとなる。

- A の区域で定着可能性の面積が大きい地区：西条大橋地区、川島橋上流地区
- B の区域で定着可能性の面積が大きい地区：西条大橋地区、柿原堰下流地区
- C の区域で定着可能性の面積が大きい地区：川島橋上流地区、学島橋上下流地区、柿原堰下流地区

今後の対策手法の検討では、これまでの検討結果であるシナダレスズメガヤの定着のしやすさの他に、レキ河原として生態環境上からの重要性等を踏まえ対策実施箇所の優先度を検討するとともに、対策の実効性、効果持続性、対策実施による河川環境への影響、経済性、維持管理の容易性等を総合的に検討していく。

表 4-1 各地区での定着可能性が高い面積（侵入可能性スコア 0.75 以上）

単位 (ha)

地区	区域	<区域A>	<区域B>	<区域C>
		1年に1回程度発生する洪水で実生の消失が期待される区域	数年に1回程度発生する洪水で成熟株の消失が期待される区域	数年に1回程度発生する洪水でも成熟株の消失が期待されない区域
高瀬橋上下流地区		0	1.35	4.2
防災ステーション上流地区		0	1.25	0
西条大橋地区		6.27	12.12	2.78
柿原堰下流地区		1.14	3.84	9.17
川島橋上流地区		3.16	1.8	11.3
学島橋上下流地区		0.17	0.62	10.3
瀬詰大橋上下流地区		0	0.15	0.36
西村中島地区		0.11	1.63	0.63
河内谷川合流地区		0	0.01	0
角の浦橋上流地区		0.01	1.4	1.54
合計		10.86	24.17	40.28

¹⁾ 3章で検討した潜在的ハビタット予測に用いた植生に関する情報は、平成12年度に調査されたものである。すなわち、平成12年度の植生に対して、シナダレスズメガヤの侵入しやすい場所を予測している。

【レキ河原としての生態環境上からの重要性】

吉野川の中流域に形成されるレキ河原は、カワラサイコやカワラハハコ等の河原植物の生育場、コアジサシやコチドリ等の鳥類の生息場として利用されている等、吉野川を特徴づける動植物の生息生育場を提供しており、これら環境を健全な状態で維持することの重要性は極めて高い。

表 4-2 レキ河原を利用する主な動植物

環境区分	主な動植物		動植物との関連性
レキ河原	植物	カワラサイコ カワラハハコ 等	・カワラサイコやカワラハハコは、レキ河原に生育する河原固有の植物
	鳥類	コアジサシ コチドリ セグロセキレイ 等	・コアジサシ。コチドリは、吉野川の中流域～河口域に分布し、レキ河原に営巣し繁殖する。 ・セグロセキレイは、全域に分布する。地上性の鳥であり、レキ河原の木や石の下に営巣し繁殖する。

特に、コアジサシはレキ河原を繁殖地として利用しており、今回対象としている地区においても、過去の調査により繁殖が確認されている。対策実施箇所の優先度の検討においては、これら動植物の生息・生育状況等を考慮して検討を進めることとする。

表 4-3 過去にコアジサシの繁殖が確認されたレキ河原（地区）

地区名	繁殖の確認状況
高瀬橋上下流地区	
防災ステーション上流地区	-
西条大橋地区	
柿原堰下流地区	
川島橋上流地区	-
学島橋上下流地区	-
瀬詰大橋上下流地区	-
西村中鳥地区	-
河内谷川合流地区	-
角の浦橋上流地区	-

：繁殖が確認された地区

H5～16までの調査（徳島河川国道事務所）での確認状況に基づくコチドリの繁殖地の場所特定に関する情報がないため、ここではコアジサシのみを対象に記載

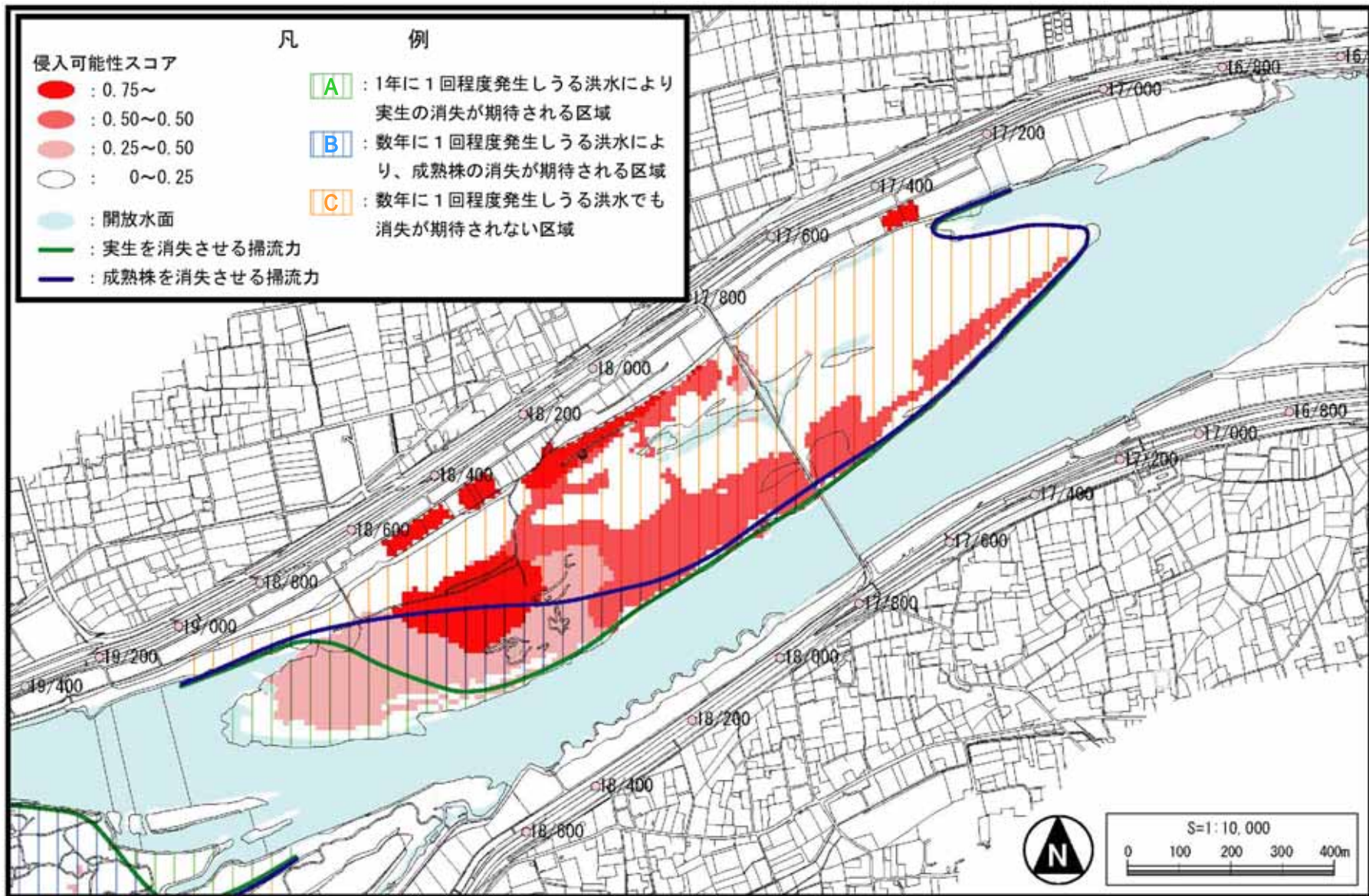


図 4-2 高瀬橋上下流地区

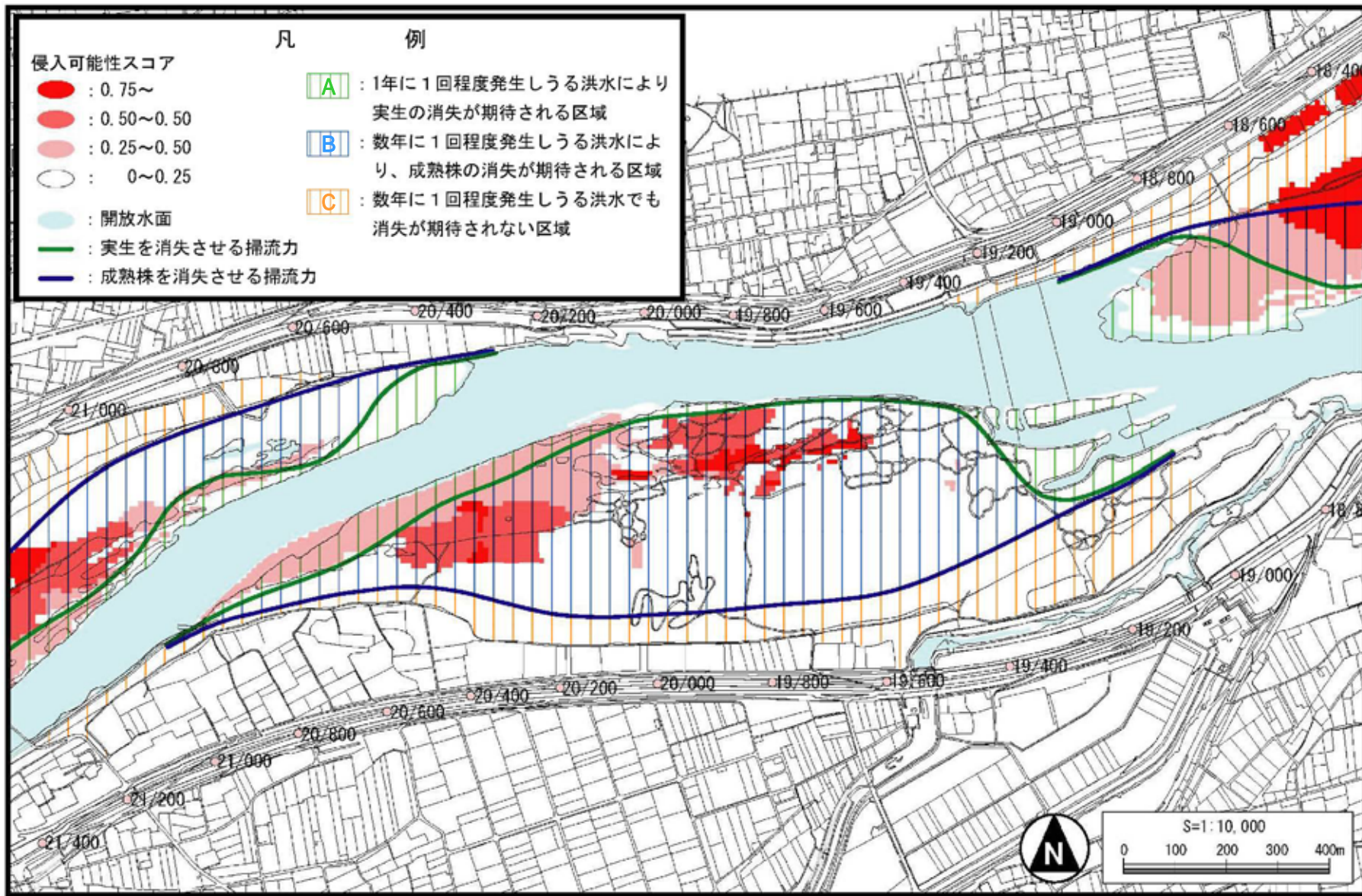


図 4-3 防災ステーション上流地区

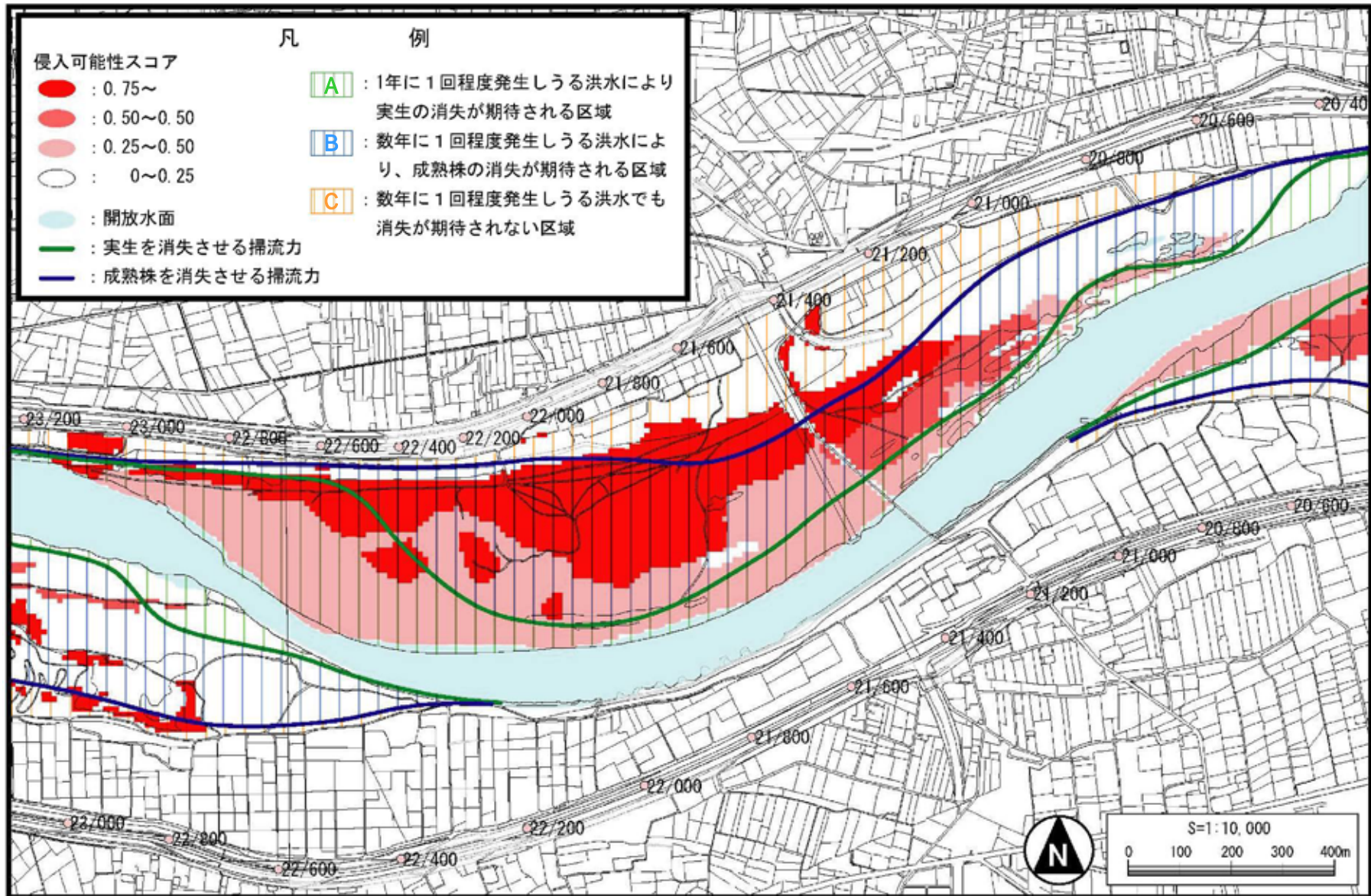


図 4-4 西条大橋上下流地区

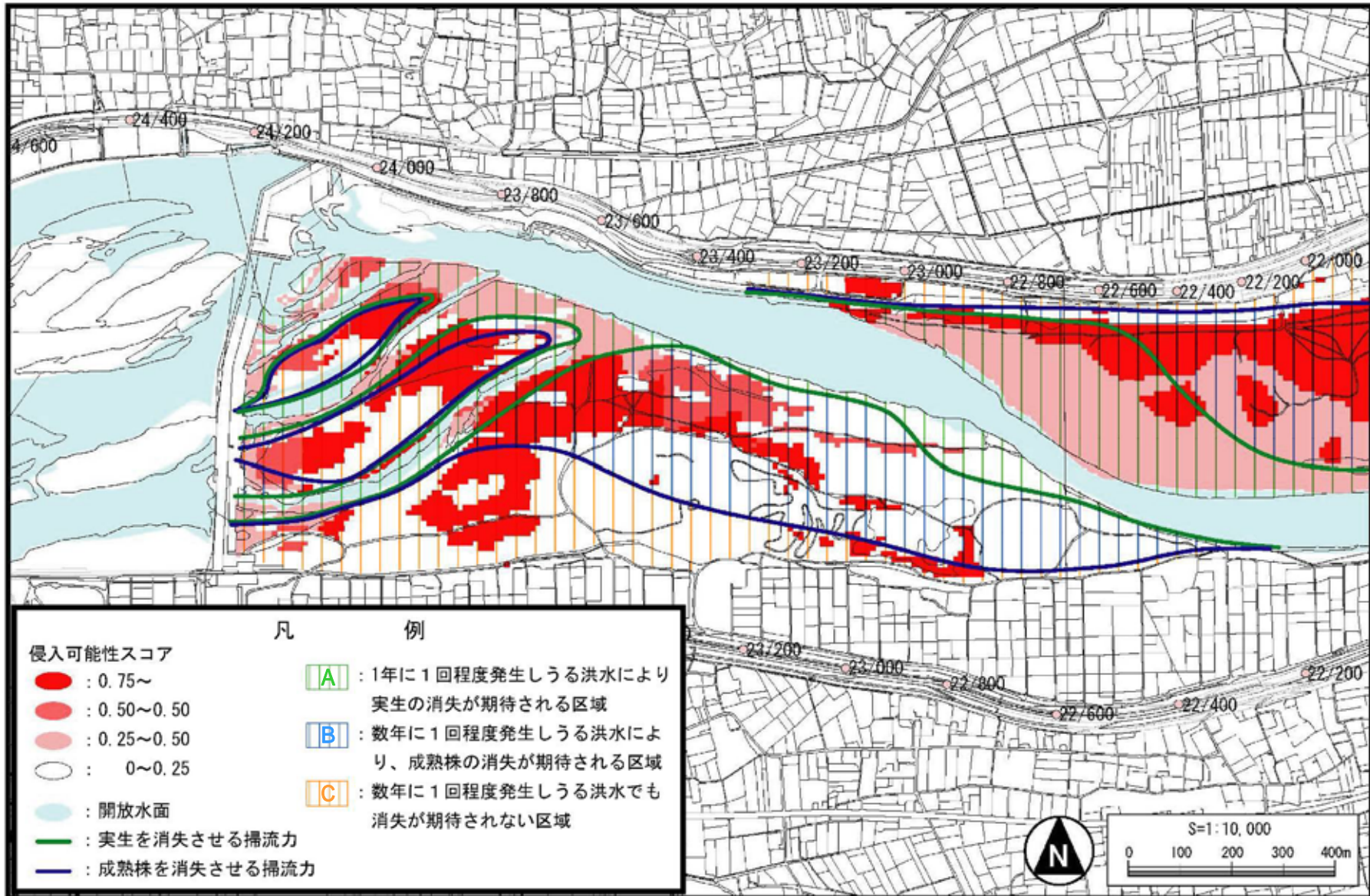


図 4-5 柿原堰下流地区

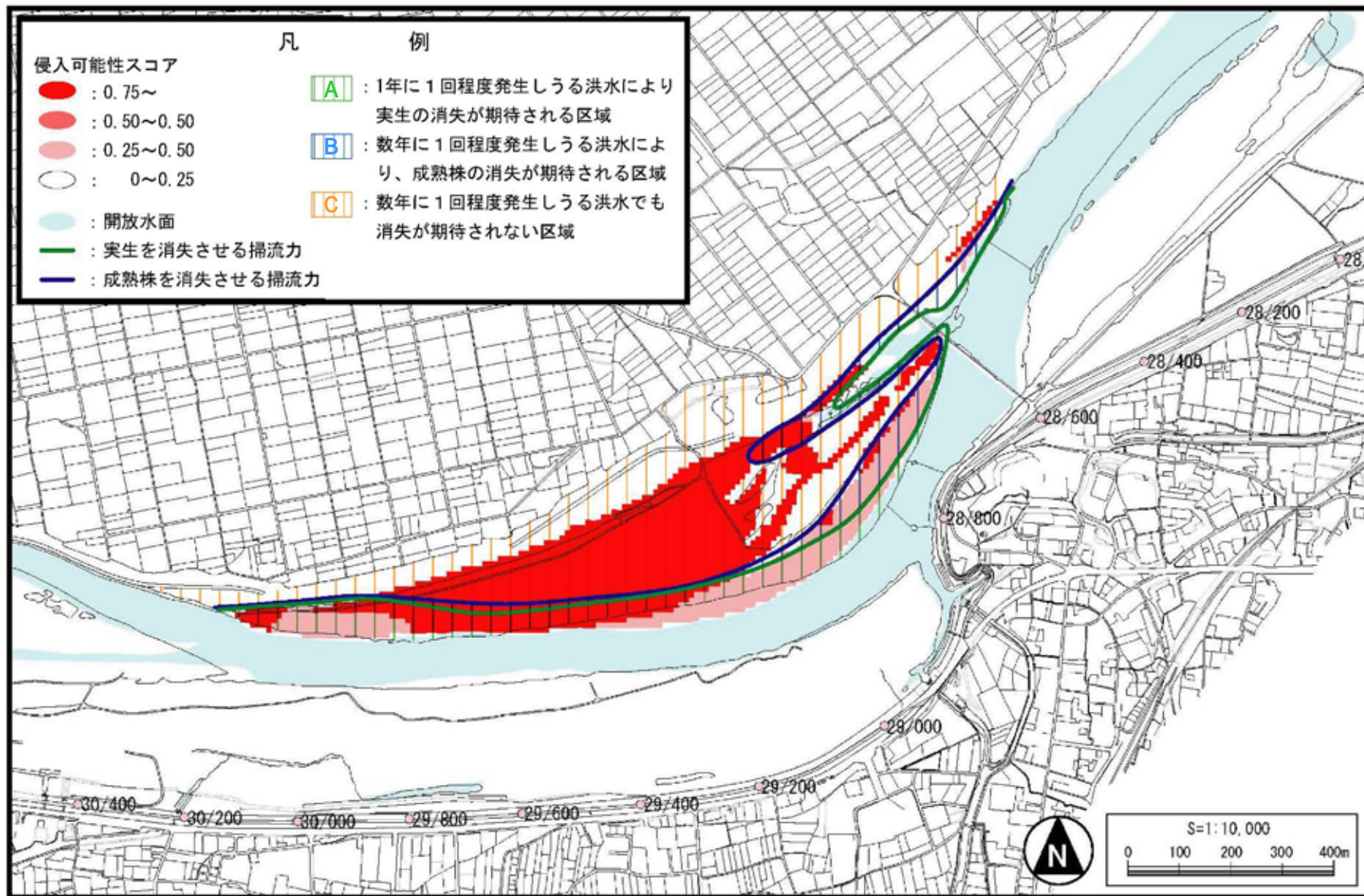


図 4-6 川島橋上流地区

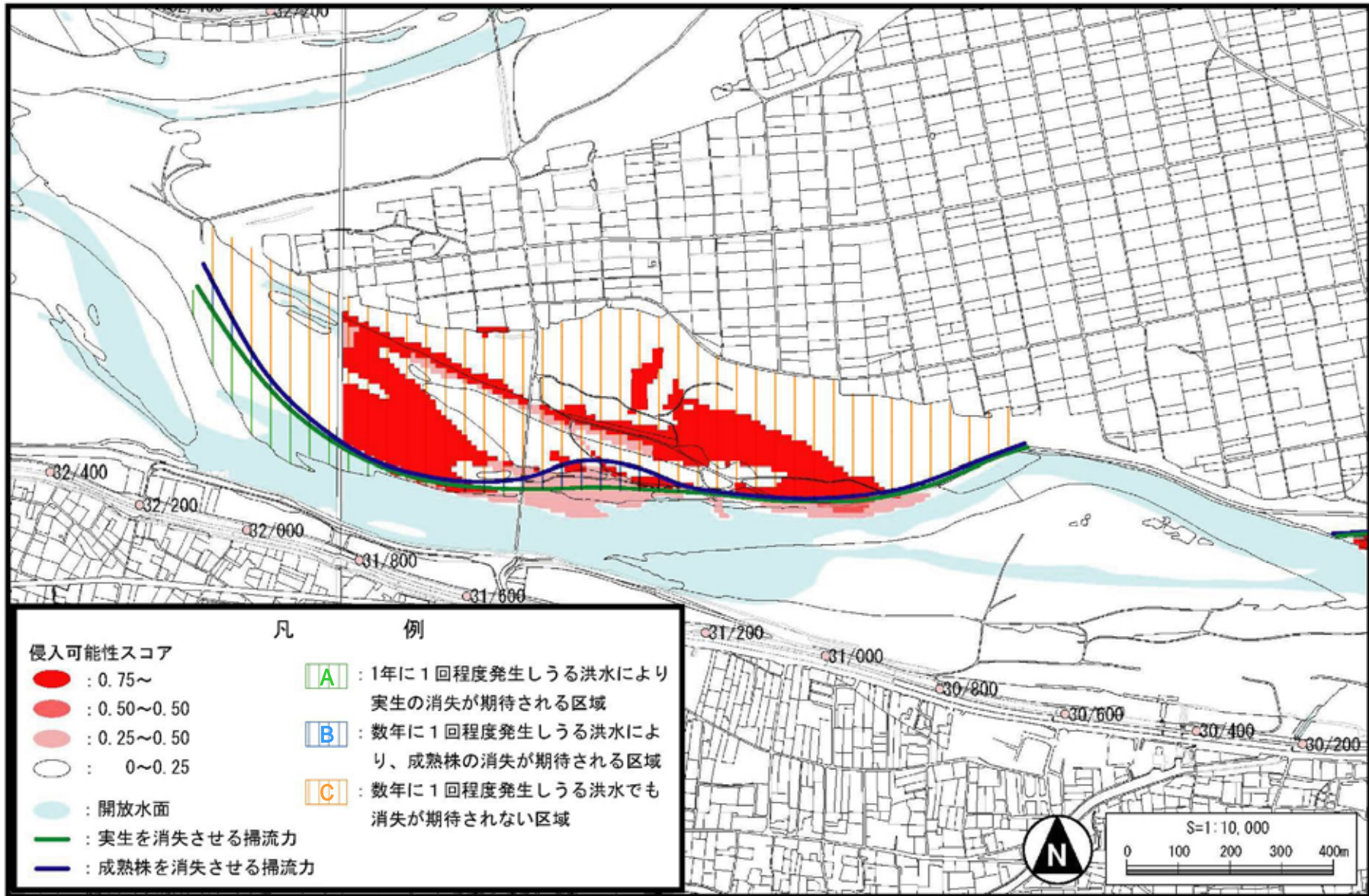


図 4-7 学島橋上下流地区

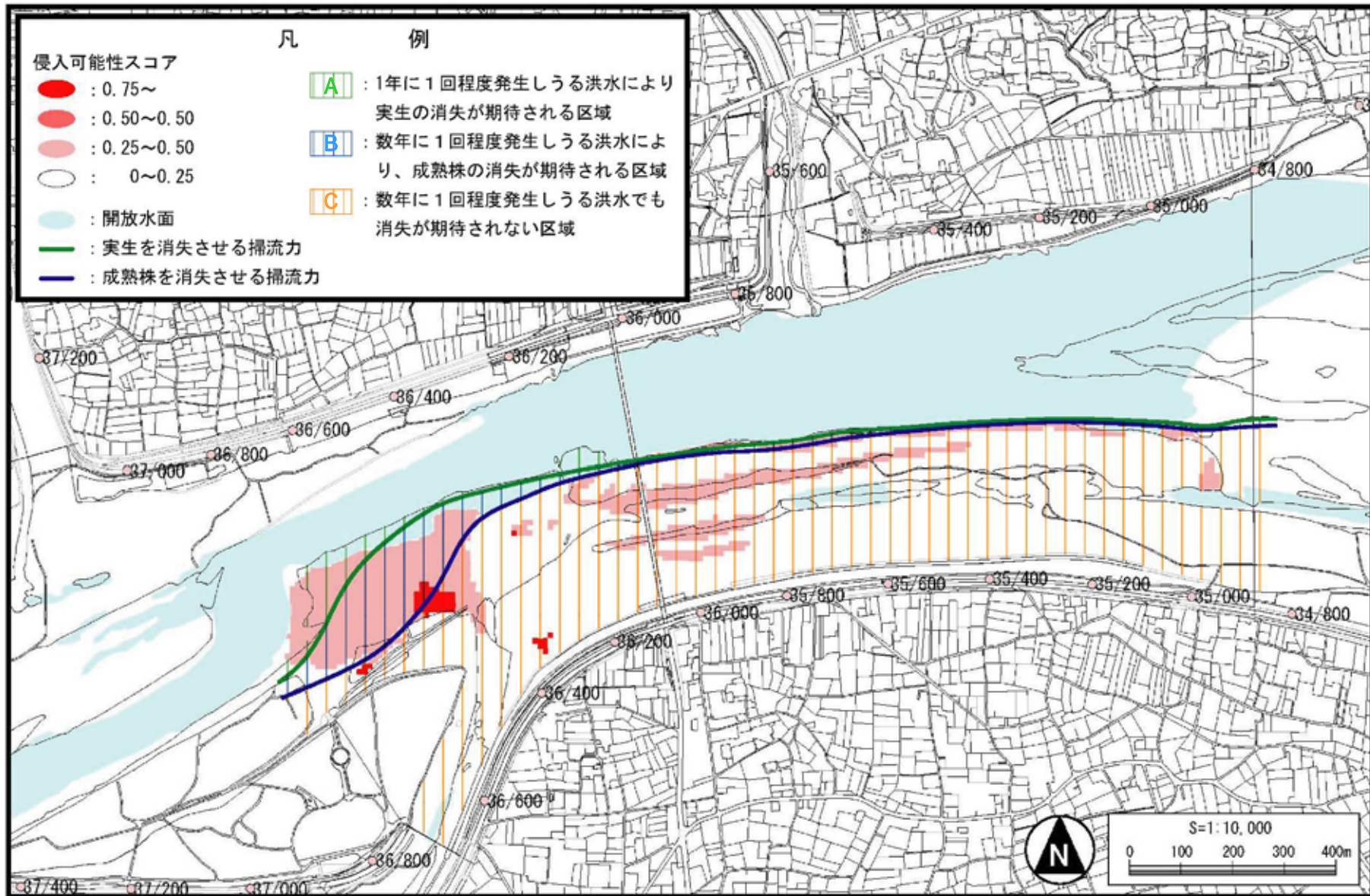


図 4-8 瀬詰大橋上下流地区

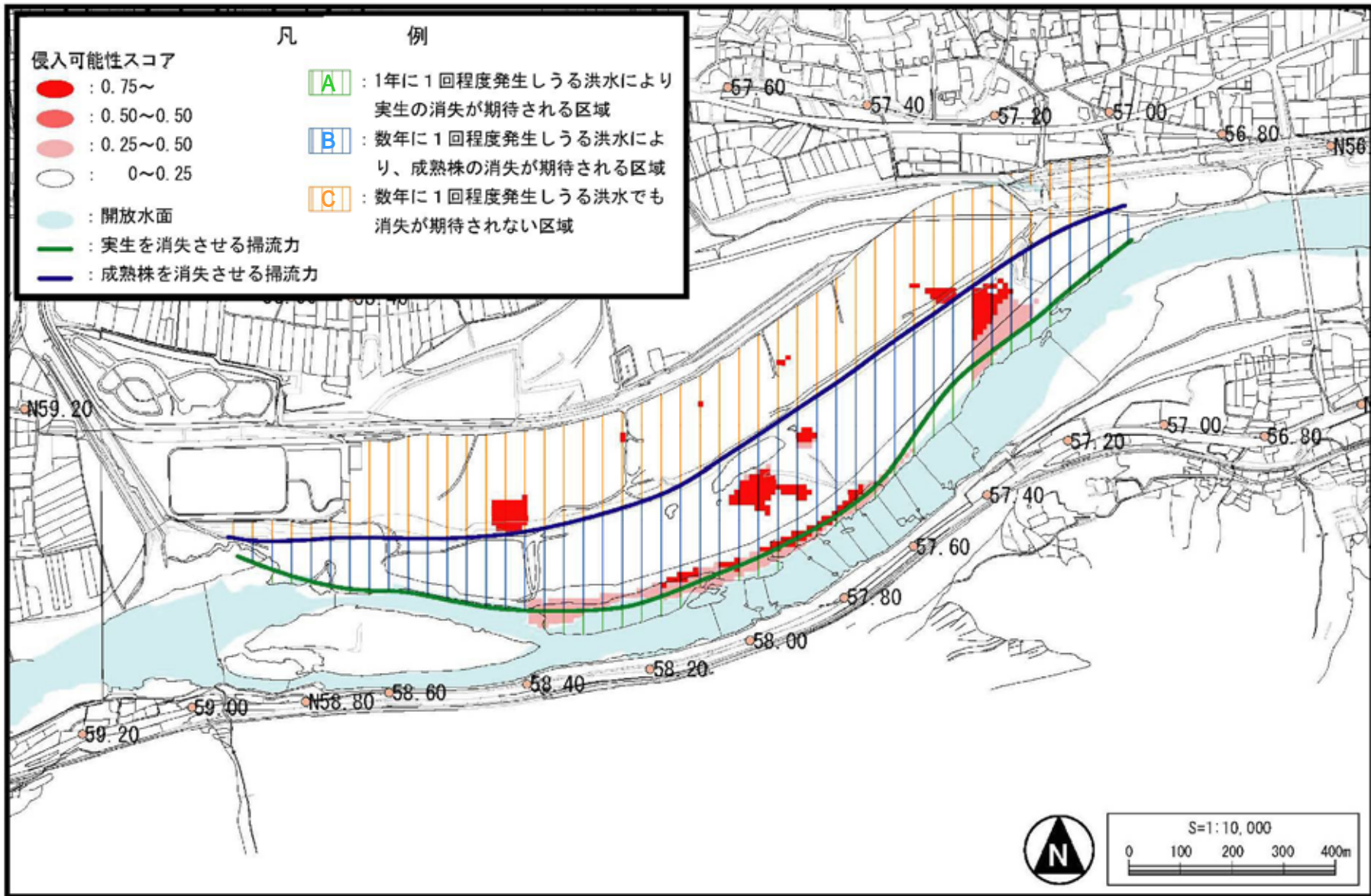


図 4-9 西村中島地区

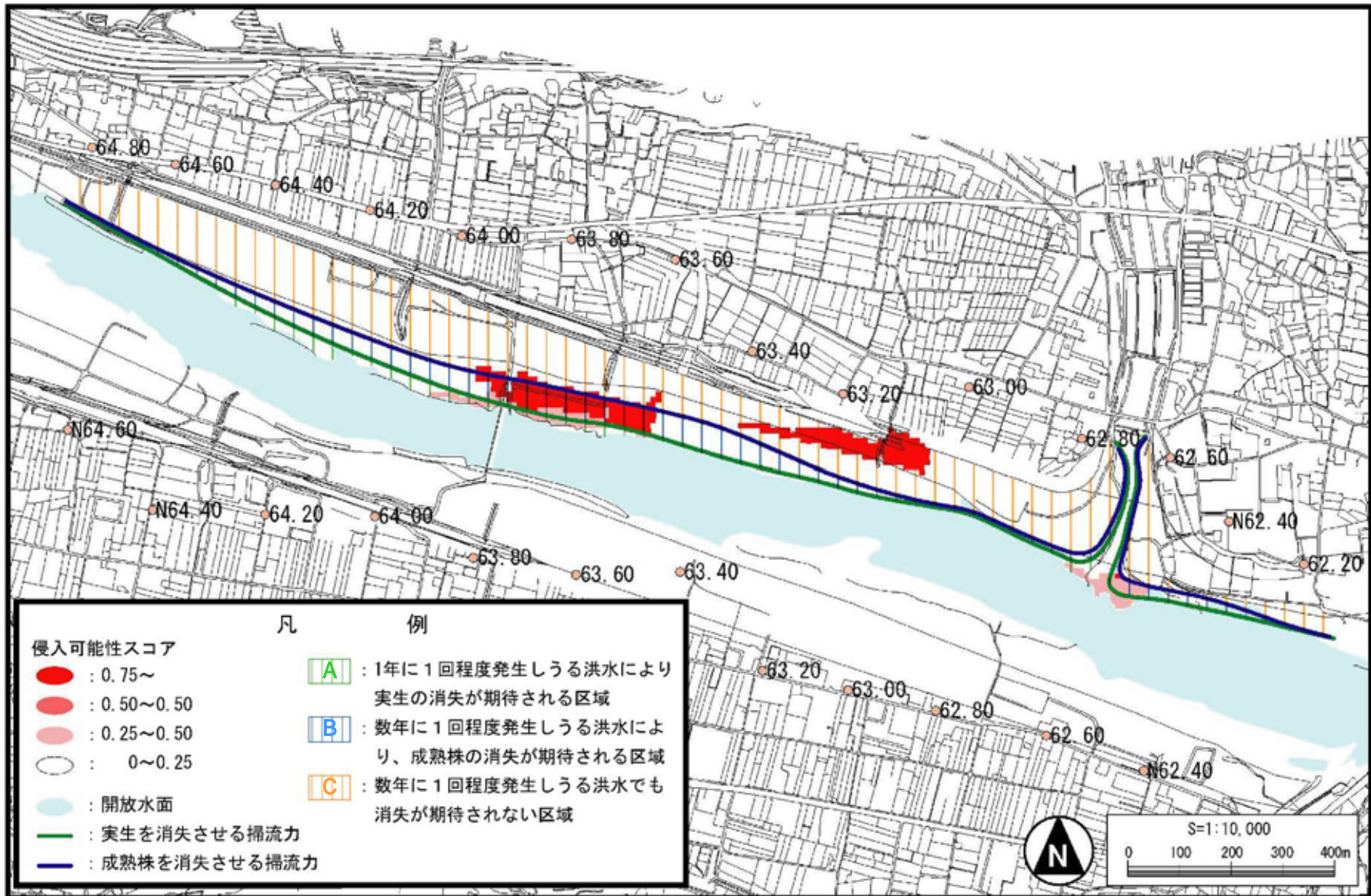


図 4-10 河内谷川上流地区 角の浦橋上流地区